

約3人に1人が「午後や夕方以降はカフェインを控えたい」と回答 コーヒーのあとの“2杯目”を選び直す新習慣『2杯目はノンカフェイン』新発売

約7割が午後の飲み物を意識して選んでいない実態も。
気分ですべる4種のノンカフェインティーを提案。

緑茶発祥の地"宇治田原"で創業約100年、お茶の通販事業等を展開する株式会社宇治田原製茶場（本社：京都府宇治田原町、代表取締役社長：安井 徳重）は、コーヒーなどのカフェイン飲料を一日に複数杯楽しむ人に向けたノンカフェインティー『2杯目はノンカフェイン』を、2026年9月15日より発売します。当社が実施した「カフェインと午後の飲み物に関する意識調査」では、約3人に1人が「午後や夕方以降はカフェインを控えたい」と回答した一方、約7割が午後の飲み物を意識して選んでいないことが判明しました。本商品は、1杯目のコーヒーを我慢するのではなく、午後や夕方の"2杯目"をノンカフェインのお茶へ選び直す、新しい飲み物習慣を提案します。

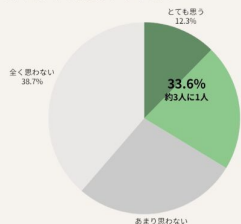


■ 開発背景 “飲みたい”を我慢せず、2杯目から選び直す

仕事や家事、勉強の合間に、ほっとひと息つくためのコーヒーやお茶。近年は、一日の中で複数回、コーヒーやお茶などの飲み物を楽しむライフスタイルが定着しています。当社が20代～40代の男女300人を対象に実施した調査では、約3人に1人（33.7%）が毎日2杯以上のカフェインを含む飲み物を飲んでいることが分かりました。また、約3人に1人（33.7%）が「午後や夕方以降はカフェインを控えたいと思ったことがある」と回答しており、日常的にカフェイン飲料を楽しみながらも、時間帯によっては飲み方を見直したいと考える人が一定数いることがうかがえました。さらに、73.0%が「仕事や家事の合間に、気持ちを切り替えたり、一息ついたりする時間は必要」と回答した一方、69.7%が「午後に飲む飲み物を意識して選んでいない」と回答。午後の休憩時間を大切にしたいと考えながらも、その時間に飲む一杯は"何となく"選ばれている実態が明らかになりました。

カフェインと午後の飲み物に関する意識調査

午後や夕方以降の時間帯に「カフェインを控えたい/我慢しよう」と思ったことはありますか？

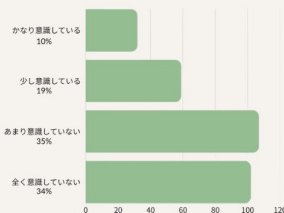


約3人に1人が
午後や夕方以降は
カフェインを控えたいと
回答！

午後や夕方以降の時間帯に「カフェインを控えたい/我慢しよう」と思ったことはありますか？

- ・とても思う：37人（12.3%）
- ・やや思う：64人（21.3%）
- ・あまり思わない：83人（27.7%）
- ・全く思わない：116人（38.7%）

あなたは「午後に飲む飲み物」を意識して選んでいますか？



7割以上が
午後の飲み物を
意識して選んでいない！

あなたは「午後に飲む飲み物」を意識して選んでいますか？

- ・かなり意識している：32人（10%）
- ・少し意識している：59人（19%）
- ・あまり意識していない：107人（35%）
- ・全く意識していない：102人（34%）

こうした背景を受け、宇治田原製茶場が着目したのが「午後の2杯目」です。1杯目のコーヒーを我慢するのではなく、午後や夕方一杯を、その日の気分や時間帯に合わせて選び直す。そんな小さな行動の変化を、新しい飲み物習慣として提案したいという思いから、『2杯目はノンカフェイン』を開発しました。

■ 商品名そのものが、毎日の飲み方への問いかけに

『2杯目はノンカフェイン』という商品名には、「今日の2杯目は、何を選びますか？」という問いかけを通じて、日々の飲み物習慣を見直すきっかけをつくりたいという思いを込めています。朝や仕事始めの1杯目はいつものコーヒーを楽しみ、午後の休憩や夜のリラックスタイムにはノンカフェインのお茶を選ぶ。「飲む・飲まない」ではなく、時間帯や過ごし方に合わせて飲み物を選び直すことで、何気なく過ぎていた2杯目を、自分と向き合うひとときへと変えていく。そんな新しい習慣を暮らしの中に広げていきます。

■ 開発担当者コメント

「コーヒーを我慢するのではなく、午後一杯を少し選び直す。そんな前向きな飲み方を提案したいと考えました。『2杯目はノンカフェイン』という商品名には、日々の飲み物習慣を見つめ直すきっかけになってほしいという思いを込めています。」

■ 商品特徴・商品概要

商品名 : 2杯目はノンカフェイン
(ルイボスティー・ローズヒップティー・ごぼう茶・コーン茶)
内容量 : 3g×10個入り
発売日 : 2026年9月15日(火)
価格 : 1,500円(税込)
原材料 : ルイボスティー: ルイボス
ローズヒップティー: ローズヒップ・ハイビスカス
ごぼう茶: ごぼう(国産)
コーン茶: とうもろこし(遺伝子組み換えでない)



■ 株式会社 宇治田原製茶場について

1926年、緑茶発祥の地と伝わる京都・宇治田原町で創業。日本茶の通信販売を中心に、お茶の製造・販売や新たなお茶文化を発信する事業を展開しています。日本文化である「お茶」と「茶の間」の価値を未来へつなぐことを理念に掲げ、品質と安全にこだわった商品づくりを続けるとともに、伝統を大切にしながら現代のライフスタイルに寄り添う新しいお茶の楽しみ方を提案しています。

会社名: 株式会社 宇治田原製茶場

所在地: 京都府綴喜郡宇治田原町

代表者: 代表取締役社長 安井 徳重

URL: <https://www.chanoma.co.jp/index.html>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

宇治田原製茶場「2杯目はノンカフェイン」PR事務局
担当: 平島・山田 E-mail: k.yamada@mushoku-tomei.jp